

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

平成30年7月25日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
理事（水産大学校代表） 鷲尾 圭司

1. 調達内容

- (1) 調達件名及び数量 練習船耕洋丸・天鷹丸外航代理店業務 一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 平成31年3月31日
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額に相当する金額を切り捨てることとし、その差額を108分の100の割合で加算し、入札書の記載された金額に相当する金額とする。ただし、入札書の記載された金額が100円未満の場合は、100円未満の金額を切り捨てることとする。

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成28・29・30年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等」の営業品目「その他」で「A」、「B」、「C」又は「D」のいずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けようとする者は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中ではないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。

3. 入札説明書等の交付方法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書の交付を受けること。）

① 直接交付
山口県下関市永田本町二丁目7番1号
国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校
校務部会計課
電話 083-227-3825
FAX 083-286-2292

② 宅配便着払いによる交付
任意書式に「練習船耕洋丸・天鷹丸外航代理店業務入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

③ メールによる交付
任意書式に「練習船耕洋丸・天鷹丸外航代理店業務入札説明書メールに希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に関する質疑がある場合には、平成30年8月1日までに上記3.あてにメール（アドレスは入札説明書に記載）又はファックスにて入札説明書受領者全員に対して行うこと。当日までの質疑をとるとともに、機構のホームページにて公表すること。なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。

ただし、質 疑 内 容 に 個 人 に 関 す る 情 報 で あ っ て 特 定 の 個
人 を 識 別 し 得 る 記 述 が あ る 場 合 及 び 法 人 等 の 財 産 権 等 を 伏 せ
害 す る お そ れ の あ る 記 述 を 公 表 せ ず 、 質 疑 者 の み に 回 答 す
る 当 該 質 疑 を 公 表 せ ず 、 質 疑 者 の み に 回 答 す る こ と が あ

5. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所 平成30年8月8日 14時00分
山口県下関市永田本町二丁目7番1号
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産大学校本館第1会議室A
- (2) 郵便による入札書の
受領期限及び提出場所 平成30年8月8日 12時00分
3. ①に同じ。

6. その他

- (1) 契約手続きにおいて
使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書
及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札
を行った入札者を落札者とする。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書
写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

7. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先
次の①及び②いずれにも該当する契約先
① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相
当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等^{※注1}として再就
職していること
② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること
^{※注2}
なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発
法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。
^{※注1} 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する
者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与
える者と認められる者を含む。
^{※注2} 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げ
られた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実
績による。
- (2) 公表する情報
上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約
締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当
機構における最終職名
② 当機構との間の取引高
③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれ
かに該当する旨
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨
- (3) 当機構に提供していただく情報
① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機
構における最終職名等）
② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高
- (4) 公表日
契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については
原則として93日以内）
- (5) その他
当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が

行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要の情報を当機構へのご提供及び情報のご協力をお願いいたします。また、ご了解願います。

8. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業 務 仕 様 書

1. 件 名 練習船耕洋丸・天鷹丸外航代理店業務
2. 業務目的 当校所属練習船耕洋丸・天鷹丸が、平成30年度遠洋航海実習のための運航に係り発生する各種手続・外国寄港地における現地代理店との連絡調整業務・港湾局業務及び官吏関係への連絡調整業務等を行うこと。
3. 運航予定 耕洋丸：別紙運航予定表Ⅰのとおり
天鷹丸：別紙運航予定表Ⅱのとおり
4. 業務期間
 - ・耕洋丸
平成30年10月21日から
平成30年12月26日までの運航に係る業務の発生する期間
 - ・天鷹丸
平成30年11月26日から
平成30年12月26日までの運航に係る業務の発生する期間
5. 履行期限 平成31年3月31日（耕洋丸・天鷹丸 共通）
6. 業務内容 遠洋航海における、下記の業務。外国寄港地で現地代理店に行わせる業務の連絡調整を行うこと。
 - ・耕洋丸
 - ①耕洋丸 資格変更手続（外変・内変）
 - ②本邦出入港手続（出入国手続）
 - 以下、外国寄港地における業務
 - ③停泊岸壁の確保
 - ④水先業務
 - ⑤綱取り放し
 - ⑥税関、入国管理官、動植物検疫官及び港湾局への事務連絡及び手続
 - ⑦その他、入出港に掛かる関係当局の情報収集や指定書式の事前確保、治安・保健衛生等の情報提供依頼、入国ビザ発給などの各種手続
 - ⑧給水・給油の立会い、食糧調達や積み込みを請け負う船舶食料業者及び塵芥収集運搬処理業者の手配
 - ⑨通訳
 - ⑩夜間の照明、ワッチマン
 - ⑪通信（FAX、電話及び外国寄港地レンタル携帯電話）
 - ⑫必要物品の手配・購入・修理及び賃貸

- ⑬乗船乗組員・調査員交替（乗下船手続）のサポート
- ⑭その他、上記以外の代理店業務一式

・天鷹丸

- ①天鷹丸 資格変更手続（外変・内変）
- ②本邦出入港手続（出入国手続）

以下、外国寄港地における業務

- ③停泊岸壁の確保
- ④水先業務
- ⑤綱取り放し
- ⑥税関、入国管理官、動植物検疫官及び港湾局への事務連絡及び手続
- ⑦その他、入出港に掛かる関係当局の情報収集や指定書式の事前確保、治安・保健衛生等の情報提供依頼、入国ビザ発給などの各種手続
- ⑧給水・給油の立会い、食糧調達や積み込みを請け負う船舶食料業者及び塵芥収集運搬処理業者の手配
- ⑨通訳
- ⑩夜間の照明、ワッチマン
- ⑪通信（Eメール、FAX、電話及び外国寄港地レンタル携帯電話）
- ⑫必要物品の手配・購入・修理・賃貸及び潜水士の手配
- ⑬乗船乗組員・調査員交替（乗下船手続）のサポート
- ⑭その他、上記以外の代理店業務一式

7. 特記事項

契約締結後は現地代理店を早急に確定させ、請負者側担当者の役職・氏名・連絡先等と併せて書面にて提出すること。

予期せぬ事由による上記以外の業務が発生した場合は、担当職員の指示によるものとする。

練習船の燃料油など日本国内の物価高騰により、経費が大幅に削減又は、補填が必要となるに至ったとき、各寄港地の変更が生ずる場合がある。

8. その他

詳細については、担当職員の指示に従うこと。

運航予定表 I

1. 運航目的 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学の海洋生産管理学科
 ・海洋機械工学科の4年次生を乗船させて遠洋航海実習を行う。

2. 船舶概要

(1)	船名	耕洋丸 (KOYO MARU)
(2)	船舶番号	第140491号
(3)	信号符字	7JBZ
(4)	長さ (全長)	87.59 m
(5)	長さ (垂線間)	77.50 m
(6)	幅 (型)	13.60 m
(7)	計画満載喫水	5.90 m
(8)	国内総トン数	2352 tons
(9)	国際総トン数	2703 tons

3. 外航航海日程 (以下の日付は全て日本時間)

港名	入港日	出港日	備考
下関		H30.10.21	
マラカル (パラオ)	H30.11.1	H30.11.6	
ケアンズ (オーストラリア)	H30.11.16	H30.11.21	
マジュロ (マーシャル)	H30.12.7	H30.12.12	
下関	H30.12.26		

4. 平成30年度 運航スケジュール

航海期間	寄港予定地
第72次 4/20～4/25	
第73次 5/17～5/22	
第74次 6/8～6/27	長崎
第75次 7/10～7/20	舞鶴
第76次 8/2～8/26	高知
第77次 10/21～12/26	マラカル・ケアンズ・マジュロ
第78次 1/22～2/28	横浜・名古屋・神戸・高松

*各航海間の停泊は全て下関港 (岬之町26号岸壁) である。

運航予定表Ⅱ

1. 運航目的 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学の専攻科生（船舶運航課程・船用機関課程）を乗船させて遠洋航海実習を行う。

2. 船舶概要

(1)	船名	天鷹丸 (TENYO MARU)
(2)	船舶番号	第142906号
(3)	信号符字	7JZG
(4)	長さ (全長)	64.67 m
(5)	長さ (登録長さ)	59.45 m
(6)	幅 (型)	11.90 m
(7)	最大喫水 (船尾)	4.94 m
(8)	国内総トン数	995.00 tons
(9)	国際総トン数	1,354.00 tons

3. 外航航海日程 (以下の日付は全て日本時間)

港名	入港日	出港日	備考
下関		H30. 11. 29	
マラカル (パラオ共和国)	H30. 12. 13	H30. 12. 17	
下関	H30. 12. 25		

4. 平成30年度 運航スケジュール

航海期間	寄港予定地
第4次 4/12 ~ 4/27	横浜、高松
第5次 5/10 ~ 5/25	
第6次 6/4 ~ 6/25	新潟
第7次 7/3 ~ 7/27	新潟
第8次 8/4 ~ 8/24	長崎・那覇
第9次 9/4 ~ 9/28	新潟
10/1 ~ 10/31	ドック
第10次 11/7 ~ 11/12	
第11次 11/29 ~ 12/25	マラカル (パラオ共和国)
第12次 1/18 ~ 1/23	未定

※ 各航海間の停泊期間は全て下関港 (岬之町23号岸壁) である。